

デイ・サージャリー診療部

Day Surgery Unit

デイ・サージャリー診療部長

坂田 隆造



日帰り手術で 在院期間を最短に

日帰り手術システムの開発・洗練と普及を目標としている。システムを合理化することにより病院滞在期間を短縮し、短期滞在、日帰り手術化を推進。侵襲度のより高い手術の短期滞在、日帰り手術化に取り組んでいる。

代表的診療対象疾患

鼓膜切開チューブ挿入術、扁桃摘出術、喉頭微細術、ポリープ切除、アデノイド切除(耳鼻咽喉科)、抜歯、修復(歯科口腔外科)、皮膚病変切除(皮膚科)、乳腺切除、生検(乳腺外科)、子宮鏡・子宮頸部手術(婦人科)、ヘルニア手術、内視鏡(小児外科)、レーザー手術、瘢痕形成(形成外科)、膀胱鏡、前立腺生検、停留精巣手術(泌尿器科)、関節鏡手術、手足変形修復術(整形外科)、電気痙攣療法(精神科神経科)など

業務内容の特徴と実績

日帰り手術専用施設として運営

デイ・サージャリー診療部(Day Surgery Unit, DSU)は日帰り手術専用施設として、2000年1月より診療を開始した。DSUで行われている手術(外科的手術、検査、処置なども含む)は、①旧来の「外来処置」およびその延長上の手術 ②従来の入院手術を短期滞在、日帰り化した手術 ③短期滞在、日帰り手術化途上にある手術などである。

2012年の治療実績は、総手術数4,097件、うち全身麻酔1,487件で、全身麻酔後480件が当日帰宅(日帰り手術)した。日帰り予定症例の予定外入院は4件のみであった。



高度先進医療の取り組み

日帰り手術の適応を拡大

デイ・サージャリー診療部では、患者さんの安全、快適さを堅持しつつ、日帰り手術の適応拡大を進めている。年間手術数も年々増加し、4,000件以上となっている。